



桂枝芍薬知母湯 (けいししゃくやくちもとう)

【処方コンセプト】 手足の運動機能が衰えた方の関節のはれ、変形による痛み。

手足の関節に慢性的な痛みがあり、筋肉がやせて関節だけが木のコブのようにはれて変形しているものに用いられる。一般に、体がやせて、皮膚がかさかさ乾燥している高齢者に多い。また、関節リウマチや変形性膝関節症などの病気を長く患っておられる方の急性増悪期にも応用されている。

◆寒湿痺（寒さや湿気で起きる関節、筋肉、骨などの異常）の状態、局所の熱痛（炎症）が明らかなものに用いられる。ただし、全身的には熱証はみられないのが特徴である。関節炎、慢性関節リウマチ、変形性膝関節症、神経痛、片麻痺などに応用される。

◆本方の体型的な特徴として、身体佺羸（オウルイ）と古典（金匱要略）にあるが、単にからだが痩せて衰えているだけではなく、膝が鶴膝風（鶴の脚のように膝関節が腫れ、疼痛がある。その上下の筋肉はやせている）であることもあらわしている。「佺」は脚の曲がったよすの意もある。

処方名	類方鑑別
桂枝芍薬知母湯	手足の運動機能が衰えた方の関節のはれ、変形による痛み。
独活寄生丸	体が虚弱で、腰や手足の痛みが頑固で治りにくい方に。 加齢による腰や手足の痛み。
疎経活血湯	痛みが強く、冷えたり疲れたりすると悪化する方の腰痛、神経痛。
五積散	手足が冷えて、からだが重だるい方の腰痛、関節痛。
防己黄耆湯	汗かきで、水太りタイプ。からだやヒザが重だるい方に。